

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

繋げていく農業

— 秋本農園 —

あきもと のりお

秋本 則夫さん

前号で取材させていただいた、菅生賢治さんのご紹介で、秋本農園の秋本則夫さんにお話を伺いました。秋本さんは秋本農園の7代目として、60ヘクタールという広大な面積で、主に米や麦を生産されています。そのほか、学校給食の地産地消の週間で使用するためにジャガイモの栽培・提供を行うなど、地域貢献にも力を入れている方です。



秋本則夫さん

苦労は当たり前

仕事をする上での苦労について伺ったところ、ポジティブな言葉をたくさんお聞きすることができました。

秋本さん「毎年の気象が違うため苦労は絶えないですし、苦労することは当たり前だと思ってます。でもそれを、前向きに、いい方向に考えていかないと、何事も意味を成さないし、次の目標も出てきません。なんでも積み重ねで、経験をしながら覚えていくので、いくつになっても勉強ですね。」

お米の大切さ

秋本農園では、中学生の農業体験の受け入れを行い、お米の大切さを子供たちに伝えているそうです。

秋本さん「若い世代に、お米に関心を持ってもらいたいですし、農業ってこうなんだよっていうのを知ってもらいたいです。普段から日本産のお米を食べられることのありがたみや、日本の食文化の大切さを実感してもらえればなと思い、農業体験の受け入れを行っています。」



中学生220人が田植えをした田んぼ



青空に映える素敵な風景

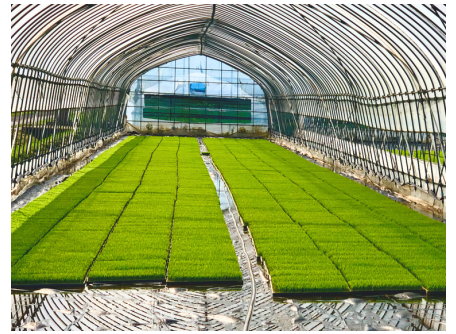
恵まれた人生、繋げていく農業

秋本さん「友達や仲間、地域にすごく恵まれていて、自分の行く方向を明確にできています。迷っても、後押しをしてくれたり、声をかけて導いてくれるんです。すごく恵まれているなと感じます。だからこそ、若い人材を育てて、自分たちが行っている農業を、次の世代に繋げていくことを大切にしていきたいです。」

農業委員会の活躍と大田原の魅力

農業委員会の委員としても活動されている秋本さん。

秋本さん「大切な農地を貸したい方から借りたい担い手への紹介や新規参入の促進、日常的に農地の見守りや農地の適正利用の確認を行っています。大田原は、農業を行うのにすごくいいところです。気象条件もいいし、黒ボク土で土地もいい、水もきれいで、とても恵まれていて魅力のある土地なんです。」



丁寧に育てられた苗



終始笑顔な秋本さん

追われるのではなく、向かっていく

今後の目標をお聞きすると、とても素敵なお言葉をいただきました。秋本さん「なんでも先を見て動いていくこと、常に柔軟に考えて仕事をしていながら、農業の良さを若い世代にも伝えていきたいですし、それを繋いでいきたいですね。ひとりで頑張ってしまうと辛いです。みんなで頑張っていけば怖いものなんて無いですし、どんな波が来ても乗り越えられるんです。仕事に追われるのではなく、仕事に向かっていく、余裕をもって仕事をしていくことが大切だと思います。追われていくと、自分がどんどん辛くなっていくだけです。そこでどう動いていけるかが需要だと思っています。」

株式会社 秋本農園

稲作・麦生産
稲藁・育苗販売
農作業受託



取材した方に聞きました

「あなたの好きな大田原」

蛭畑の歩道

秋本さんのオススメは、蛭畑の歩道に咲く花。
大田原は、老人会が元気で、歩道脇の花が
管理されとても綺麗です。

農業体験を行う中学生たちが田植えをしている姿も素敵でした。



大田原市移住・定住交流サロンの
メンバーが増えました！

地域おこし協力隊

はやしだ きょうざぶろう
林田 恭三朗



大田原市の田園風景や人々の魅力に惹かれて、千葉から移住してきました。これから多くの方に魅力を感じて頂けるように活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課